

令和元年度（2019年度） 第1回 社会教育委員の会議 会議録

- 1 日 時 令和元年（2019年）7月16日（火）14:30～15:35
- 2 場 所 南北海道教育センター 1階 大会議室
- 3 内 容  
(1) 令和元年度（2019年度）社会教育事業について
- 4 出席委員 14名 （滝澤委員，外崎委員，長谷川委員，佐竹委員，  
瀬戸委員，市田委員，池田委員，石崎委員，神田委員，  
八田委員，吉川委員，川口委員，板東委員，佐藤委員）
- 5 欠席委員 1名 （佐々木委員）
- 6 事務局出席者7名 （堀田生涯学習部長，佐藤生涯学習部次長，  
神生涯学習文化課長，大野スポーツ振興課長，蛭子井文化財  
課長，円山生涯学習文化課主査，葛西生涯学習文化課主事）

7 発言要旨

滝澤委員長

それでは定刻になりましたので，只今から令和元年度（2019年度）  
第1回社会教育委員の会議を開会いたします。

本日は，何かとご多用のところ，ご参集いただきまして誠にありが  
とうございます。

私は，委員長を務めております滝澤と申します。

どうぞ，よろしく願いいたします。

本日の会議は午後3時30分の終了を予定しております。

それでは委員の出席状況について，事務局から報告願います。

円山生涯学習  
文化課主査

委員の出席状況につきましては，委員15名中14名の委員の出席  
をいただいております，函館市社会教育委員の会議規則第5条第1項の規  
定に定める過半数に達しておりますことから，会議が成立しております  
ことをご報告いたします。

滝澤委員長

つづきまして，資料の確認をさせていただきます。

事務局お願いいたします。

円山生涯学習  
文化課主査

資料の確認をさせていただきます。

〈事前配付資料〉

円山生涯学習  
文化課主査

- ・次第
- ・資料1「令和元年度（2019年度）社会教育事業について」

〈当日配布資料〉

- ・座席表
- ・委員名簿
- ・社会教育委員の会議に係る法律・条例等を抜粋した資料
- ・重要文化財旧函館区公会堂保存修理工事現場見学会
- ・重要文化財旧函館区公会堂の保存修理について
- ・箱館戦争終結150年のリーフレット
- ・博物館講座のご案内
- ・「第39回北海道市町村社会教育委員委員長等研修会」資料  
地域の子どもは地域で育てる事例1～4

机上配付の資料で不足している方がおりましたら、お知らせください。

滝澤委員長

つづきまして、委員の変更がございましたので、新任委員の皆様方をご紹介します。

また、新年度初めての会議でございますので、教育委員会事務職員をご紹介します。

それでは、事務局お願いします。

円山生涯学習  
文化課主査

(各委員紹介)

函館市文化団体協議会 副会長の  
瀬戸 真理子 委員 です。

函館市PTA連合会 副会長の  
神田 克実 委員 です。

日本放送協会函館放送局 放送部長の  
吉川 徳人 委員 です。

また、本日は欠席でございますが、  
北海道新聞社函館支社 報道部長の  
佐々木 学 委員となっております。

円山生涯学習  
文化課主査

次に、教育委員会職員をご紹介します。  
生涯学習部長の 堀田 三千代 でございます。

円山生涯学習  
文化課主査

生涯学習部次長の 佐藤 聖智子 でございます。  
生涯学習文化課長の 神 和 幸 でございます。  
スポーツ振興課長の 大野 孝悦 でございます。  
文化財課長の 蛭子井 慶治 でございます。  
生涯学習文化課主事の 葛西 暁子 でございます。

私は、生涯学習文化課主査の 円山 牧子 でございます。  
なお、博物館長の 阿部 貴樹 につきましては、  
出張のため、本日は欠席しております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

滝澤委員長

それでは、会議次第に従いまして会議を進めて参ります。  
報告（１）の「令和元年度（２０１９年度）社会教育事業」について  
事務局より説明願います。

複数の課がございますので、  
はじめに生涯学習文化課とスポーツ振興課の説明後、  
一旦、質疑応答を設けます。  
その後に、文化財課、博物館、教育事務所から  
説明をお願いしたいと思います。

神生涯学習文  
化課長、大野ス  
ポーツ振興課  
長  
滝澤委員長

（生涯学習文化課、スポーツ振興課の順で各課長が資料１に  
基づき説明）

それでは、生涯学習文化課とスポーツ振興課の説明がありましたが、  
ここまでの説明に関して何かありましたら、挙手をいただければと思  
います。いかがでしょうか。

川口委員

令和元年7月8日（月）道新の夕刊の記事ですが、大手玩具メーカ  
ーのバンダイ（東京）が、子どもに今習っている習い事を複数回答で  
尋ねたところ、水泳が最多の41.4%で、学習塾が27%、ピアノ  
が24.9%という結果でした。やはり子ども達が夏に海で泳ぎたい  
ということだと思います。我々は子どもの頃、いわゆる海で学校のグ  
ラウンド以上に遊んでおりましたが、今は遊泳禁止になっているので、  
夏なのに子どもがいない海というのは、海でないような気がいたしま  
す。今の海洋の問題や魚がとれないという問題、マイクロプラスチック  
の問題等、環境問題とか色々ありますけれども、やはり、海から学  
ぶものは非常に多いと我々大人は感じております。海で子ども達を泳  
がせてあげることが大事なのかなということを思っております。

大野スポーツ  
振興課長

東部地区ですと、遊泳等については、函館市児童生徒水難防止協議会において協議されており、学校や町会、関係団体等の承認・確認をいただき、特に地元漁協関係のご理解を得て安全策を講じ、実施についての教示をしてから遊泳する場所を提供しています。

川口委員

旧市内は1カ所、入舟町前浜海水浴場を提供しています。  
自然から学ぶのが一番です。漁業の後継者もない、やはり海に親しまないことには、ふるさと意識も生まれにくい、危険を学ぶのは海が一番だと思います。

滝澤委員長

全ての海水浴場が禁止ということではなく、計画を立てて安全確認してから解禁ということなのです。

自由にどこでも遊泳できるということはなかなか難しいですが、委員の意見も踏まえながら、海洋都市函館でもありますので、それぞれの地域で共有していくということでもよろしくお願いいたします。

池田委員

生涯学習文化課所管の「まなびっと広場」について質問です。  
私は青年センターに勤務しており、まなびっと対象の講座も数多く開催しております。多くの方に講座に参加いただいております。他の施設のことは分かりませんが、青年センターは「まなびっと手帳」を持っていく方がおりません。単位を一定数とると奨励賞が発行されると思いますが、実際に奨励賞の発行実績はどれくらいなのでしょう。

神生涯学習文  
化課長

「まなびっと広場」については、取り組みを始めたのが平成13年です。手帳については、3,800部ほど交付されております。  
奨励賞は50単位で「50ビット奨励賞」、100単位で「100ビット奨励賞」、150単位で「まなびっと博士認定証」となります。  
実績は次のとおり。

	発行実績	
	H30.4~H31.3	H31.4~R1.6
キッズ20びっと奨励賞	0	1
50びっと奨励賞	1	1
100びっと奨励賞	1	2
まなびっと博士認定証	3	2
合計	5	6

(人)

滝澤委員長

他にございますか。

大野スポーツ  
振興課長

その他として情報提供がございます。  
・6月1日、本市がオリンピックパラリンピック聖火リレーの北海道のスタート地となることが発表されました。スタート日は、来年の6月14日となっております。

大野スポーツ  
振興課長

- ・日本ハンドボール協会のご理解をいただき、12月16日～20日までの5日間、函館アリーナでハンドボール男子日本代表が合宿を行うこととなりました。  
もちろん、オリンピックにつなげた合宿ということで期待されているところもありますので、詳しいことは後ほど、みなさまに周知いたします。ぜひ、ご覧いただければと思います。
- ・新たな事業といたしまして、スケート場におきまして、いよいよ施設を更新し、氷をつくるための設備を整え、令和3年にリニューアルオープンすることとなっております。このため、工事期間である令和2年度は休止となります。
- ・千代台公園野球場について、今年度は予算を確保し、シーズンオフに大規模改修ということで、スタンドの防水、椅子の交換、その他施設改修を行う予定となっております。

滝澤委員長

ありがとうございました。  
それでは次は文化財課、それから博物館、各教育事務所の順に説明をお願いいたします。

蛭子井文化財  
課長、神生涯学  
習文化課長  
滝澤委員長

(文化財課、博物館、各教育事務所の順に説明。博物館・各教育事務所は生涯学習文化課長から説明。)

文化財課、博物館それから4つのそれぞれの教育事務所の事業についての説明がありました。

質疑応答の方に移りたいと思いますが、みなさまいかがでしょうか。

川口委員

縄文については、ユネスコ遺産になって欲しいと思っているところですが、先日、地域の女性に縄文についてどう思うか、という質問をしてみたところ、どうとも思わないという返事でした。自分は縄文が好きで色々と勉強しているのですが、縄文は一般の人にはあまり受け入れられていないのではないかと、いう気がしております。

世界遺産に登録されたとしても地元が理解していないのは良くないとも思います。世界の他の都市では地域の人が世界遺産に選ばれたことで沸き立っており、民俗の誇りを持っているのだと感じます。

縄文についてどのくらい興味を持っているのか、年代別に調査し、何が課題となっているのかを整理する等、出発点から確認してみた方が良いのではないのでしょうか。

蛭子井文化財  
課長

我々も、地元の説明会は白尻を含め2回くらい開催しておりますが何十人も集まるという雰囲気ではありません。地元でも縄文文化を世界遺産に、ということで普及しようと懸命に活動されている方々もたくさんおりますが、地元の皆さんの歓迎や協力が薄いとなりますと、後々、響いてくると思っておりますので、地元のみなさまには、縄文

蛭子井文化財課長	<p>文化交流センターを見ていただく、足を運んでもらえるかは分かりませんが、違う所で展示会を開催してみる等の取り組みや、仕掛け作りを行って行かなければならないのかとも思っております。</p> <p>一生懸命に取り組んでいただいている方々がおりますので、その方達に地元と交流を持ってもらうのも1つの方法ではないかと考えております。</p>
川口委員	<p>北海道白老町にウポポイという施設ができましたよね。7月8日の道新に「ウポポイが観光アイヌの延長線上にあるのでは」、という芥川賞作家「池澤 夏樹」の記事が掲載されていまして。アイヌ文化を観光レベルで終わらせるのではなく、アイヌと縄文を結びつけたようなものも考えられるのではないかと思いますのですが、いかがでしょうか。</p>
蛭子井文化財課長	<p>文化財課と博物館で役割分担がございまして、アイヌは民族資料館、博物館が担当しております。縄文とアイヌとのつながりは明確なものはまだはっきりしておりません。つながりがあるのではという想像はされていますが、縄文とアイヌをつなげるような事業は実施しておりません。</p> <p>しかし、博物館ではアイヌ文化の展示を行っております。</p> <p>歴史的につながりが判明した暁には、文化財と博物館の連携のもとに、どこまで出来るかは分かりませんが、協調しながらやっていければと思っております。</p>
滝澤委員長	<p>その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>他になれば、4の報告を終わりたいと思います。</p> <p>スポーツ振興課長、文化財課長は退席となります。</p>
滝澤委員長	<p>次に、5「その他」ですが、事務局から何かございますか。</p>
神生涯学習文化課長	<p>7月8日と9日に開催されました「第39回北海道市町村社会教育委員長等研修会」に委員長と私とで参加してまいりましたので、そのご報告をさせていただきたいと存じます。</p> <p>先週、「北海道市町村社会教育委員長等研修会」が札幌市内で開催され、滝澤委員長と私の2名が参加しましたので、報告させていただきます。研修会は、121の市町村から約200名が参加した中、事例発表などが行われました。</p> <p>テーマは、「社会教育と学校教育の連携・協働を進めるために」で、4名の社会教育委員が発表し、コーディネーター役の道教育庁の主幹が発表者へ質問する形で進行し、事例1の釧路町の事例は、小学校の空き教室を利用して、子どもの放課後対策として子ども教室を設置しているというもので、「地域の子どもは地域で育てる」をスローガン</p>

に活動しております。

発表者は、社会教育委員であり、子ども教室のコーディネーターで、子ども教室では、子どもが下校してから夕方まで開設し、宿題などの学習のほか、体育館で遊んだり、室内で折り紙・パズルなどを行うというものです。

開設時は、学校との関係もスムーズではなく、なぜ、余計な人が学校にいるのかといった雰囲気があり、ご苦労があったようですが、その後、学校側も理解を示し、子どもの担任の先生からも情報をいただくことができるようになったとのことです。

子ども教室は、学校でも家庭でもなく、先生も親も見ることがない姿を自分たちスタッフが見ており、特別支援の子どもやいじめられていた子どもについて、学校と常に情報共有しながら対応しているとの話がありました。

事例2の士別市の事例は、発表者が学校運営協議会の地域コーディネーターであり、社会教育委員も務めています。

発表者からは、社会教育委員としての役割を考えたとき、今、できることは情報を伝えることだと思う。会議や研修で吸収したことを地域へ、地域の状況を行政に届ける役割として、続けていけたらと思うとの話がありました。

学校運営協議会の活動としては、

- ・生徒数の増加が見込めない中学校の統廃合を市へ要望し実現したこと
- ・地域に、学童保育や児童館がないため、放課後子ども教室をスタートさせたこと
- ・教職員の負担軽減のため、教職員からアンケートをとり、中学校にたくさんある観葉植物の水やりや、小学校の農業学習で使用する農園の水やりや草取りを手伝ってほしいという要望を受け、地域の老人クラブの方などに手伝ってもらっていること

などの紹介がありました。

発表者からは、「人と人をつないでチーム作りを意識している。

また、人間関係が見えていないと繋げられない」という言葉があり、発表者は、これまで地域の関係者とたくさん、話し合いを続けてこられたという印象を持ちました。

事例3の登別市の事例では、地域学校協働本部の活動として、

- ・子ども達を集めての餅つき、消防署見学
- ・地域の方に参加していただき、お手玉や、竹とんぼなどで遊ぶ世代間交流

- ・草取りなど地域の人にお世話になりながら行っているふれあい農園，小学校の花壇整備
- ・放課後学習サポートでは，算数のプリントを用意し，分からないところを一緒に考えサポート

などの紹介がありました。

取り組みの成果としては，

- ・児童と地域住民との交流ができること
- ・異なる学年や他の学校の児童との交流できること
- ・地域ボランティアの知識や経験を発揮できる場所を確保できること

などをあげておられました。

事例4の稚内市の事例では，発表者は，学校のPTA活動をしなが  
ら，地域をどのように盛り上げ，連携していくかを考え，娘の中学校  
卒業と同時に，父親のOB会を立ち上げた話が紹介されました。

OB会の活動としては，

- ・入学式や卒業式の垂れ幕，学校の屋上から吊すような大きなもの  
を作成してお祝いし，生徒の思い出づくり
- ・学校の子ども達が農園で土をさわりたいという話があり，廃棄す  
る予定の農機具を修繕し，OB会で農園を作ったこと
- ・サマーキャンドル，ペットボトルにろうそくを入れ，通学路にキ  
ャンドルで照らすもので，生徒と保護者が一緒に出かけるといっ  
た，家族団らんの場の提供
- ・地域と学校の連携として，古紙回収，生徒が1軒ずつまわってお  
り，よその家に行って，「どうもありがとうございました」という  
機会はなかなかないのではないか

など，紹介されていました。

発表後，コーディネーター役の道教育庁の主幹からは，4名とも社  
会教育委員であり，学校と地域をつなぐコーディネーターとして取り  
組まれているとのことでした。

- コーディネーターの活動は，4名の方の話を聞くとかなり具体的  
で明確な役割があつて明確な役割を一生懸命されていました。
- 社会教育委員もコーディネーターと取り組むことは同じで，人と  
人とを繋いだり，もしくは行政と地域を繋いだり，学校と地域を繋



神生涯学習文化課長

いだり、色々なところと色々なところを繋ぐ、パイプ役ではないかとの話がありました。

- 私としては、研修会に参加して、4名の発表者は、皆さん、苦勞しながらも学校を応援している、地域のキーパーソンとして活動され、また、皆さんは、情報発信していくこと、情報共有すること、人と人をつなぐことを大事にされていると感じました。

以上でございます。

神生涯学習文化課長

第59回北海道社会教育研究大会兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会が、十勝において10月10日～11日にかけて開催されますが、来年の令和2年度の第60回北海道社会教育研究大会の開催地は、函館となる予定でございます。

今のところ、令和2年10月8日（木）～9日（金）の2日間での開催予定です。

今年、この大会に向けて渡島社会教育委員連絡協議会からの要請がありましたので、加盟自治体と共に函館市も実行委員会として参画し、開催に向けて協議していく予定です。

協議結果等、具体的な内容につきましては随時、報告してまいります。

滝澤委員長

私も参加いたしました7月8日と9日に開催されました「第39回北海道市町村社会教育委員長等研修会」と第59回北海道社会教育研究大会兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会に関する報告でした。全道の研修会の事例と、令和2年度は渡島開催というお知らせもありました。

何か、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

昨年の会議では、コミュニティースクールとは何だろうということ市町の担当からお話を聞きました。

市町村の規模にもよりますし、社会教育委員の構成にもよると思いますので、函館市でそれがどうか、という話ではないですが、課長のお話にもありましたように、学校と社会をつなぐコーディネータの役割を社会教育委員が果たすか、社会教育委員としてどのような事業に参加していったらよいか、意見交換ができればと思っております。

また、渡島主催の全道大会におきましても、せっかくの機会ですので、出席をいただければ、色々なお話をもっと聞けるのではと思っておりますので、その際はよろしく願いいたします。

滝澤委員長

事務局から他に何かございますか。

神生涯学習文  
化課長

次回の委員会の開催については、まだ決まっておりません。  
決まり次第、ご案内したいと思います。よろしく願いいたします。

円山生涯学習  
文化課主査

これを持ちまして、第1回社会教育委員の会議を終了したいと思います。

皆様、お疲れ様でした。

以上、令和元年度（2019年度）第1回函館市社会教育委員の会議の会議録とする。

委員長 滝澤 智子